

相次ぐ事実隠蔽発覚！

11月13日、新幹線大阪第一車両所仕業検査で発見された客室窓ガラス打痕の報告に対して、何と管理者が打痕から発生している「亀裂」を報告図面から消すように指示しました。作業担当者から「事実隠蔽ではないか」と指摘をされ、ことの重大さに気が付き大あわてとなる事態が明らかとなりました。

しかし、このような体質はこのことだけではありません。今年3月に新幹線東京第一車両所交番検査で発見されたブレーキディスク板亀裂の申告を72mmから68mmにするように指示しました。70mm以上の亀裂は即台車交換となるため、70mm以下の申告として計画修繕として約10日間営業運転を行ったのです。

これで本当に

安全は守れるのでしょうか！

管理者がウソの
報告をするよう指示！